「諏訪実業高校　文化ビジネス研究　観光マップ（歴史・景観）」

~Summer tourism in SUWA~

諏訪地域の夏は都会に比べ、涼しくすごしやすく神社巡りなどしながら諏訪の自然と触れ合ってほしいから。

諏訪大社：下社「春宮」④

諏訪大社の御柱は、下から見上げたらとても大きくて**御柱の木を見たことのない人たちからしたら、とてもインパクトのある大木だと思います。**

この御柱は、数えで七年に一度、寅と申の年に行われる「式年造営御柱大祭」、通称御柱祭（おんばしらさい）で建てられたものです。御柱祭は、20mほどもあるモミの巨木を人力のみで曳き、各お宮の四隅に建てるという勇壮なもので、毎回 20 万人以上が見物に訪れます。

とくに、下社の山出しの際に行なわれる「木落し」は、最大傾斜 35 度の急斜面の坂を御柱が一気に下り落ちるので、木の大きさと合わせて圧巻の見どころです。

諏訪大社：下社「秋宮」⑤

秋宮は、かつて中山道と甲州街道が交わる交通の要所としてにぎわった旧下諏訪宿の高台に鎮座しています。幣拝殿の背後の自然樹木やイチイの木を、神の依り代、御神体としています。樹々に囲まれた境内は涼しく、心静かにさせてくれます。

諏訪大社：上社「本宮」②

諏訪大社は、諏訪湖の周辺にある４社の神社の総称で、全国に約 10,000 社ある諏訪神社の総本社でもあり、関係の摂末社は 60 数社が郡内全域に鎮座しています。国内にある最も古い神社のひとつであり、また諏訪大社最大の神事「御柱祭」でも全国的に知られています。

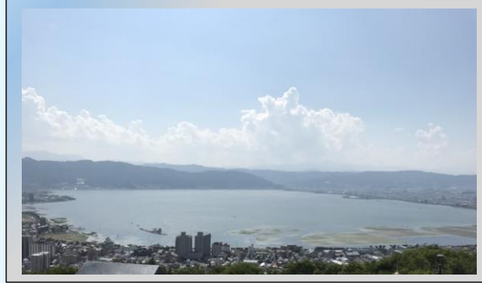
上社は、赤石山脈に連なる守屋山の北麓に位置し、守屋山を御神体として祀っています。**夏に来ると木々に囲まれて自然いっぱいの場所なのですごく涼しいです。お土産屋さんも沢山あるので諏訪の名産品をぜひ！**

片倉館　⑥

片倉財閥によって、会社の人たちだけでなく一般市民も使用できる温泉施設として設立されました。国指定重要文化財に平成２３年６月に登録されました。設備は古いのですが、重厚さがあり、**千人もの人が入れるという「千人風呂」が有名です。ここでは有名な映画「テルマエ・ロマエⅡ」**の撮影場所となりました。ロケ地に選ばれるほどなので中はローマ風呂みたいな感じになっています。

立石公園　⑦

立石公園は諏訪湖を一望でき、岡谷、下諏訪、遠いところには北アルプスも見ることができます。**また、立石公園は新日本三大夜景１００選にも選ばれており、信州サンセットポイントにも選ばれました。長野県の中でも上位にくる景色です。**つい最近では映画「君の名は」の映像のモデルにもなり、「君の名は」聖地巡礼の観光客も多いです。



神長官守矢史料館①

本宮と前宮との間にある、二社と関わり深い史料館。

守矢家は中世より諏訪神社上社の神官の一つである「神長官（じんちょうかん）」を明治時代まで勤めて、祭祀を取り仕切ってきた家柄です。内部は上社の「御頭祭」が復元展示されています。**１５頭の鹿の首と、１０頭の猪の顔があり、どれも笑って見えるのが不思議…観光客はなかなか知らない、まさに「知る人ぞ知る」の史料館です！**

諏訪大社：上社「前宮」③

本宮から 1.5 kmほど離れたところに鎮座する前宮は、ご祭神が最初に居を構えられた場所という伝承があり、諏訪信仰発祥の地ともいわれています。

境内には「水眼（すいが）」と呼ばれる清流が湧き水として流れ、社殿を囲むように４本の御柱が立てられています。諏訪大社の４社中、**四隅の御柱すべてに触れることができるのは、この前宮だけです。**

歴史ある諏訪大社の中でも最も古い社として参拝客が絶えない神社です。

諏訪地方観光連盟製作「諏訪エリア観光ガイド」より転用・加工